

第2回 オフィスセキュリティセミナー

個人情報保護法とオフィスのセキュリティ対策

主催：NRI データサービス 2004年10月21日（東京）

企業の経営企画などの管理部門、情報システム部門のキーパーソンを対象に標記のセミナーを開催した。台風の翌日だったが、セキュリティへの関心が高く、当初の予定より20人ほど多い79人が出席された。本セミナーは、オフィスの環境改善に焦点を絞り、2005年から施行される個人情報保護法への取り組み方や、NRI（野村総合研究所）グループのソリューションを提言することで、今後の企業経営の戦略立案の手助けとなることを目的としている。

まず基調講演として、NRIのビジネスイノベーション事業部長の金森剛と同部コンサルタントの堀内隆明が、「個人情報保護法に向けたリスクマネジメントと実例」と題し、以下の4点について述べた。

企業における個人情報という情報資産の価値への認識とリスク管理手法、これまでに起きた個人情報漏洩事件と各企業が受けた損害、個人情報保護法に対し各省庁が示しているガイドラインと第三者機関認証制度、個人情報保護法対策を進めていくうえで必要不可欠となる項目。特に出席者の興味を引いたのは、各業界・企業の情報セキュリティに対する投資額と、セキュリティ対策を行ううえで「経営者の参加」「教育」「労務対策」をバランスよく行うことの重要性である。

続いて、NRI データサービスの^{はらみいし} 孕石幸弘が、「認証・証跡管理を支える情報漏洩対策ソリューション」と題し、セキュリティ対策をシステムで捉えることと、システムによるセキュリティ対策には限界があることについて注意を促した。システムによる認証管理による防止対策と、同じく証跡管理による抑止対策が、セキュリティレベルを維持するうえで

必要であると語った後、現状の情報出入り口の見直しとシステム運用が重要であることを訴えた。また、NRI データサービスの「セキュリティクイックアセスメント」の紹介と提案を行った。

最後に、NRI データサービスの池原芳宏が、「個人情報保護に対応した電子メールシステムのあり方」と題し、ビジネスコミュニケーションツールとして必要不可欠となった電子メールシステムに対応する情報漏洩対策ソリューションを紹介した。今や企業における電子メールは、生産性を向上させるうえで必須であるのはいうまでもないが、反面でセキュリティ上の故意過失による事故は後を絶たないのが実情である。万が一の事態が起きた場合を想定した仕組みが必要として、NRI データサービスの「アーカイブソリューション」の提案を行った。

本セミナーはセキュリティへの感心の高さを再確認する結果となったが、当日実施したアンケートでは、企業によって取り組みと具体的施策の実施状況に格差があるという興味深い結果が得られた。このアンケートの結果、およびセミナーで用いた資料はNRI データサービスのホームページ（<http://www.nridata.co.jp/>）で公開している。なお、次回のセミナーは、「個人情報保護法施行に向けた直前対策」をテーマに、1月下旬の開催を予定している。詳しくは上記のホームページを見ていただきたい。

.....
本セミナーについてのお問い合わせは下記へ
NRI データサービス(株)企画・業務管理本部事業企画室
木下 智

電話（03）5201-0520

電子メール nrids-info@nri.co.jp